

栃木県議会議員

平木ちさこ 活動レポート

元気ネット

発行
平木ちさこ
事務所
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962
TEL 0288-26-6739
FAX 0288-26-6759
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (奇数月末日更新)

お米! 来年から減反制度が廃止! どうなる?

栃 木県全体の今年の主食用米の作付けは 54,134ha。米の消費量は減り、国から県に示される作付値は毎年600~1,000haずつ減らされてきている。今年の日光市の作付けは2,451ha、県の作付けの約4.5%ほど。

県や市では、減反の廃止に伴い、ネギやタマネギ、里芋やズッキーニなどの露地野菜へ転換してはどうかと、提言している。

しかしながら、田んぼ用の機械では汎用出来ず、新たに畑用の機械を買わなければならない、との問題があり、県ではこの4月から水田における露地野菜づくりを支援しようと【露地野菜生産供給スタートアップ支援事業】を始めた。栽培のための機械の購入や加工・貯蔵施設等に対し、1/2から1/3の補助金を出そうというもので、この制度は米からの転換だけでは無く、露地野菜の生産拡大をめざす農家も対象としている。

*

一 方で、農水省では、現在の飼料の国内自給率3割以下を8年後の37年度までに6割まで高めようという目標を

立てている。先日も今市の水田農家の方が、自分の所は確実に飼料米を増やしていくと言っていた。

経済界には減反政策は、米農家の自由な米づくりを妨げ農家の弱体化を招いて来たとの意見が根強くある。来年度の作付け面積に関して、ペナルティーは無くなったものの、市は県の、県は国の作付参考値を待っているところだ。

*

お 米は美味しいだけでなく、おっぱいの代わりに赤ちゃんが重湯で育ったと言われるように栄養も満点。

日光市の農地の80%を占めている田んぼ、来年からも米価暴落などせずに、大きな混乱も無く順調に進んで行けるように、県の動向も注目して行きたい。

*

藤 原高德の獨協大学病院日光医療センターが、土沢の日光産業団地に移転する話が浮上した。

藤原、栗山方面から通院している人たちや鬼怒川温泉等の宿泊客への対応も、病院がなくなると困る。そんな不安に対し、病院では「ここは災害拠点病院でもあり、1月には透析病床を5床から25床に増やしたばかり。移転後も現在の所に医療機能は残します」と話している。この産業団地は10.6ha、そのうちの7.5haが病院敷地となる。広いだけに駐車場も現在の340台から職員の分も含めて1,000台になり、ドクターヘリのヘリポートも建設する。

現在、病院の職員は380人、掃除や看護補助など外部から働きに来ている人たちを合わせると500人は優に超える。医師は元より看護師や介護職が不足している中、寮も完備し働く人たちが集まりやすい環境を整えるという。人が人を24時間、看護したり介護したりするには多くの人手が必要。

29年4月現在の県西医療圏(鹿沼市・日光市)には、11の病院があり、一般・療養1,330床、精神456床、感染症4床、計1,790床。そのうち日光市の8つの病院が、一般・療養818床、精神120床、感染症4床を占めている。現在、医療センターのベッド数は199床。増床について尋ねると、病院側も県の担当者も地域医療構想に基づきそれはまだまだこれからのこと、と慎重だ。願わくば、訪問診療、産科小児科、脳外科なども備えてほしい。医学生も来て周囲に飲食店が出来るなど様々な雇用が新たに生まれるだろう。



働き口!

今市の中心部にある今市病院も今あるところのすぐそばに移転の計画があるという。高齢化が進む中、医療機関がしっかりと地域に根ざしてくれることは安心で嬉しい。

*

さ て、平成27年の国政調査によると、栃木県から仕事や通学で他県へと流出する、その出て行く先は群馬県が最も多く1日当たり23,503人、逆に入ってくる流入人口

は茨城県からが最も多く22,098人、となっている。県境に働く場があると行き来も激しくなる。

また、自分が住んでいる市や町の中だけで働いたり通学する人、すなわち日光市に住む人が日光市内で働いたり、市内の学校に通う割合は、宇都宮市の49.6%に次いで日光市は48.1%と県内25自治体中第2位となっている。

しかしながら昼夜間人口比率では日光市は94.7%、県内13位へと下がる。

その原因は、平成27年の10月1日の1日当たりの日光市からの流出人口は、10,818人、流入人口が6,417人となっている。市外から入ってくる人より市外へ働きに、または通学のために出て行く市民の方が、1日当たり4,401人多いという結果から来ている。

*

観 光産業も裾野が広く、多くの雇用を生んでいる日光市。雇用の場が増えると街が活き活きと動く。せっかく工業団地を整備したのに、との声もあるが、轟団地の売却の時の事を思えば、病院移転の計画はイイ話だと私は思っている。

日光市から県へ要望（全40項目）

この度、平成30年度へ向け日光市から県に対し以下のような予算要望が行なわれた。（抜粋）

- 産後うつに対する検診医療機関のスキルアップ研修会の開催。
母子短期宿泊型施設を県内広範囲で利用を可能に。
- 太陽光発電設備の撤去時の費用をデポジット制で対応する等、確実に処分できる制度を新設すること。
- 今市青少年スポーツセンターの人工芝張り替えや、日光霧降アイスアリーナの施設改修。
- 海外観光客誘客の対象をアジアから欧米地域へ拡充すること。
- 平成30年産米以降の政策変更に対する各種支援。大室、田川流域、矢野口、山口地区の圃場整備の計画的実施と薄井沢地区の事業推進の採択。
- 日塩道入口から三依までの14kmの道路整備他、道路・河川の整備21項目。

ちょこっとデータ

日光市内の高齢者施設

特別養護老人ホーム
11施設508床、
来春には足尾の皇海荘が
今市豊田地区に
50床を新設の予定。
特養入所待機者は
複数の施設を
申し込んでいる人も
含めて414人。

7月23日、民進党栃木県日光市支部が誕生した。

記念映画会、設立総会には暑い中にも関わらず、75名が参集！

政府与党の暴走が目に見える。立憲・民主・平和主義をないがしろにするばかりでなく、年金、教育、貧困、少子化、介護医療などの日々の生活や先行きに不安を抱く国民の声は依然と強い。

一昨年秋の安保関連法や今国会での共謀罪の成立、森友・加計問題、その他の議員の不祥事を見て、安倍政治にいよいよ我慢も限界を超え、今こそ党として力を付けねばと痛感致しての設立となった。

民進党綱領には、『我が党は、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つ。未来・次世代への責任を果たし、既得権や癒着の構造と闘う、国民とともに進む改革政党である。』として結党した。今こそその原点に立ちかえり、理念を全うするため、地方から党を支えより強い組織にして行かねばとの想いが確認された。

日光市に 民進党の支部誕生!!



世 論調査の結果、民進党の支持率は一桁台の低迷を続けている。この国民の評価を民進党への批判として受け止めたとき、私自身は党員議員として、この日光地区で、党の理念実現のためにどんな活動をして来たのかを省みた。

中央の指示を待つだけでは自ら官僚主義を認めることになってしまう。

ここ日光市から平和を守り安心して生きてゆける社会に向け、さまざまな政治・社会活動を繰り広げて行こうと決意を新たにしました。

*

皆 さまにおかれましても以上のような意を組んでいただき、ご賛同、ご協力、ご支援を頂けますようよろしくお願い致します。まずは14名の幹事でスタートしました。共に活動して下さる幹事さん、随時募集中です！

2017年7月23日

民進党栃木県日光市支部 支部長 平木ちさこ

8・9月の催し

※会場はいずれも平木事務所です

元気会 毎月第1土曜日 10時～11時30分

- 日時▶ 8月5日(土) 9月2日(土)
- 会場：元気ネット事務所（日光市土沢1962）
 - 内容：県政報告及び時事問題についてみんなで話し合うひとときです。※会費、申し込みは不要

女性の茶話会 毎月第1水曜日 19時～21時

- 日時▶ 8月2日(水) 9月6日(水)
- 会場：元気ネット事務所（日光市土沢1962）
 - 参加費：300円（軽食付き）
 - 申込み：前日まで ☎0288-26-6739 へ
(☎090-4825-3775、またはショートメールへ)

平木ちさこ

県議会一般質問傍聴応援のお願い

- 日時▶ 9月27日(水)
11時15分～12時15分
- 会場▶ 県議会議場
- 集合▶ 多くの方の応援をお願い致します。直接行かれる方は11時までに1階ロビーにて受付をお願いいたします。また、乗り合わせで行かれる方は平木事務所に9時30分集合。(お申し込み：☎0288-26-6739 へ)

※平木ちさこは、HPオフィシャルサイトまたはFBに、「今日の活動」を毎日アップしています。どうぞご覧ください。(平木ちさこで検索してください)

県政について、みなさんのご意見をお寄せください。



[Eメール] hiraki-chisako@nifty.com

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは奇数月末日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

